



- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・がんばる子



プラス1（ワン）な生き方を！



SMAPの「世界に一つだけの花」が2003年に大流行しましたが、その歌詞の中に、「ナンバーワンにならなくてもいい、もともと特別なオンリーワン！」と。そのオンリーワンな生き方よりもすてきな「プラス1（ワン）」な生き方はどうでしょうか。

昨年2月、「ソチオリンピック」が開催されました。メダルはとれませんでした。女子フィギュアスケートの浅田真央選手の演技に感動した方は多かったのではないのでしょうか。

19歳で出場したバンクーバーオリンピックでは、女子史上初の3度のトリプルアクセルを成功させるも銀メダルで悔し涙を流しました。ソチオリンピックまでの4年間は、一からスケートングを見直し、ジャンプを矯正、表彰台にすら上がれないつらい時期もありました。でも、自分の夢に向かってやるべきことをしっかりやる浅田選手がいつもいました。

そして、浅田真央選手の集大成として臨んだソチオリンピック。ショートプログラムはまさに悪夢でした。3つのジャンプはことごとく失敗し、まさかの16位。メダルは絶望的。でも真央選手は強いアスリートでした。誰もが諦めかけていた中、最後まで挑戦する姿勢を崩しませんでした。

フリーでは、トリプルアクセルを成功させる最高の演技で自己ベストを更新する点数を出しました。演技を終えると感極まって涙を流しました。割れんばかりの歓声に包まれます。最後まで諦めずに完璧な滑りを見せた真央選手に会場では涙をぬぐって感激する人もいました。「わたしが目指してきたのは、昨日のような演技ではなくて、今日のような演技。これが自分なんだと受け止めています。」

（真央）ようやく見せた真央スマイル。「フィギュアスケートは勝った、負けたではないと思うんです。生き様をどう氷の上でみせるか。それがフィギュアではないですか」。3年前に亡くなった真央選手のお母さんの言葉です。浅田真央選手は、まさに「生き様」を私たちにを見せてくれました。

勝つために全力を尽くすのは、じつはやさしいのです。負けと決まったあとに、全身全霊を込めるのは誰にでもできることではありません。昨日よりも今日、今日よりも明日、の気持ちで自分自身を高めながら、一日一日の練習に全力で取り組んできた真央選手。その強い心に私たちは感動したのだと思います。

「プラス1（ワン）」。「今日もプラス1」「明日もプラス1」。毎日、毎日、少しでもいいから「プラス1（ワン）」。「真央選手のように、そんな気持ちで頑張っていると、自分でも驚くほど成長して輝く人になるのです。輝いている人の周りには、頑張っている人が集まってきます。そして、また、輝きが増すのです。ほんの少しの努力を大切にしてほしいと思っています。そして、それを続けること。勉強にも、お掃除にも、挨拶にも、係活動にも、何事にも。要田小の合い言葉「プラス1（ワン）」でがんばっていきましょう。



「平成27年度 チーム要田」



支援員	非常勤講師	用務給食	養護教諭	主査
山代	白岩	佐藤	小川	本柳

2年担任	1年担任	教頭	校長	3・4年担任	6年担任
柳沼	村上	吉田	大河原	柏木	内池

【新しい仲間の紹介】

職名	氏 名	前 任 校	メ ッ セ ー ジ
教頭	吉田	石川町立 石川小学校より	始業式・入学式で出会った子どもたち、校歌を歌う姿に誇りを感じました。山形県に3年間行っていました。久しぶりに福島に帰ってきてはりきっています。要田小、プラス1がんばっていきたいと思います。
教諭	内池	三春町立 中妻小学校より	上は大学3年生、下は小学3年生、合計6人の子の母親です。子育ての失敗談はたくさんあります。要田の子どもたちを、みなさんと一緒に慈しみ育てていきたいと思います。
講師	白岩	新採用	始業式・入学式での子ども達の立派な姿を見て、要田小学校の素晴らしい伝統を感じました。10年振りの小学校勤務となりますが、要田小の一員として力いっぱい頑張ります。
支援員	山代	田村市立 滝根幼稚園より	礼儀正しく、優しい要田の子ども達。個性あふれるすてきな先生方と、毎日の学校生活を思う存分楽しめるよう支援したいと思います。



新学期
スタート

「チーム要田の子どもたち43名」



平成27年度がスタートしました。6日の入学式、1年生4名の姿は立派でした。在校生も式にのぞむ姿にたくましさを感じました。今年は、全校児童43名の子どもたちとがんばります。応援よろしくお願いいたします。

【要田小学校の「A・B・C」】

★ 当（A）たり前のことを ぼ（B）んやりせずに ち（C）ゃんとできる子どもに！

- ・ 普通のことをきちんとする。それを続けると、普通のことが普通でなくなるのです。価値が高まるのです。当たり前のことだけど、それを子どもたちと一緒に教職員も保護者の皆様も実行していくことこそ大切な「心の教育」ではないでしょうか。

＜生活の基盤となる力＞

- 「あいさつをしよう」
- 「返事をしよう」
- 「履き物をそろえよう」
- 「掃除をしよう」

※ 少し意識をすれば誰にでもできる簡単なことです。要田の子どもたちはよくできています。さらによくなるように頑張ります。

始業式：校歌 すばらしい歌声でした！



入学式後の学級にて

【チーム要田1年生】



入学児童呼名では、「はい」と元気に返事ができました。立派でしたね！



・約束「自分でする」
荷物を自分一人でカバンに入れていきます。



黄色い帽子をかぶって、安全に登校します。